

ご意見・ご要望		投稿日	平成26年9月29日
件名	子ども医療費助成制度について		
本文	<p>山梨市では、平成26年10月1日より子育て中の家庭への支援をより充実させるため、「子ども医療費助成金制度」の助成対象を中学3年生まで拡大させております。少子化が叫ばれ次代を担う子どもたちが、阻害されようとしています。日本も経済の低迷期から脱出しようとしており、経済発展のために公共事業の増民間活力の増強等今だけを考えると世の中が進んでいるように思えます。</p> <p>しかし、20年後を考えて下さい。今の子ども達が、日本を山梨県を甲府市を支えているのです。他の小さい市町村でもすでに前述の通り、子ども達の未来を考えています。残念ながら県庁所在地甲府市では何を優先しているのか、今だ何の変化も有りません。未来のことを考えるのでしたら、今の老人だけでなく子ども達の未来を考えて、社会で子ども達を育てる環境を作して下さい。今の日本ももちろんですが、将来の日本も良い国であるように、是非考えて頂きたいと思います。繰り返しますが、甲府市で一番最初に行うべき事案です。しかし、給食の問題等何か全てが遅れてしまっている様に思います。今の立場に甘んじることなく社会が良くなるように、努力して頂きたいと思います。</p>		
回 答		回答日	平成26年10月3日
担当部署	福祉部 子ども家庭支援室 児童育成課		
本文	<p>ご要望いただきました、すこやか医療費助成制度対象年齢の拡大につきましては、子育て世代への支援策の一つとして、現在、本市においても調査研究を行っているところであります。</p> <p>本事業の平成25年度実績額は、6億1千万円余となっており、入院・通院とも中学3年生まで拡大した場合、更に1億2千万円ほどの費用がかかるとの試算結果が出ております。このことは、市財政に与える影響が大きく、引き続き様々な面から調査研究が必要であると考えております。</p> <p>このような中、平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」が施行される予定となっておりますことから、市民の皆様のご意見等をお伺いする中で、「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども達の健全な育成に努めるとともに、子どもの医療費助成事業につきましても、将来にわたり持続可能で安定的かつ効果的な運営ができますよう取り組んでまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>		